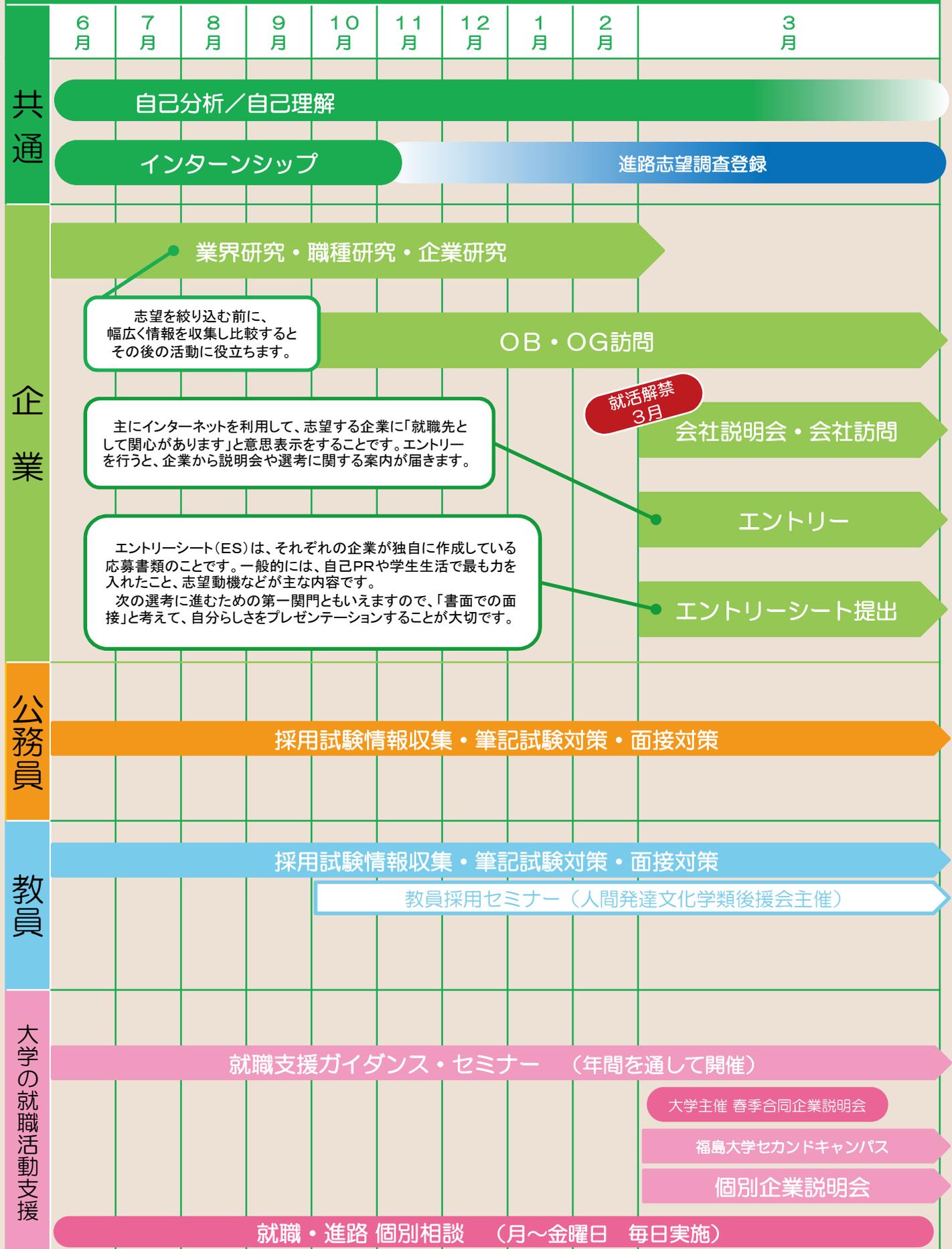


保護者のための  
就職活動サポート  
Guidebook

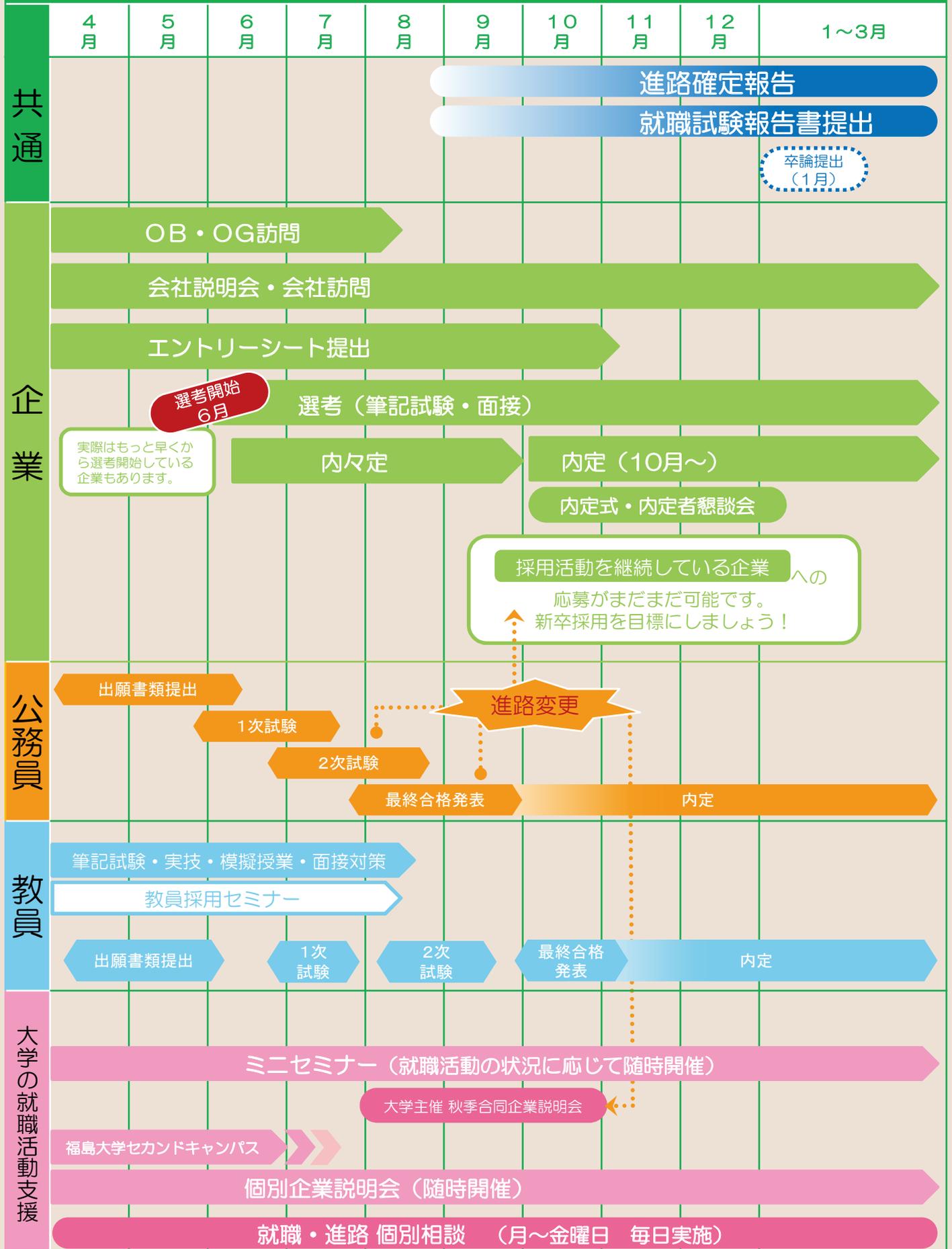
# 一般的な就職活動の流れ

## ◆ 3年生 ◆



- ◆保護者のみなさまが学生であった時と比べて、今の就職活動はスケジュールやプロセスが大きく変化しています。
- ◆就職活動の進め方は学生のみなさんの志望によってそれぞれ異なります。こちらに示したスケジュールはあくまでも参考例としてご覧ください。

## ◆ 4年生 ◆





# 進路が決まった学生のみなさんに聞きました

就職活動を終えた学生のみなさんから寄せられた声を掲載しています。

## 家族のサポートで嬉しかったこと



アパートと実家、試験会場までの送迎をしてくれたこと。

好きなようにやりなさいと一任してくれたこと。

教員講座の費用負担をしてくれたこと。

帰省した際に私の好きな食事ばかりを作ってくれたこと。

時折母親から試験への応援メールが届き、嬉しく感じた。

うまくいかない時、「がんばっているのは分かっているから、もしダメでも大丈夫、気にしなくていいよ」と言ってもらったこと。

心配はしていたようですが、基本的に口を出さなくてくれてよかった。

料理など、日々の生活のサポートがありがたかった。実家暮らしなので、勉強に集中することができました。

やはり資金の援助が何よりの助けとなった。また、時々連絡をくれたことも精神面で支えとなった。

相談した際は真面目に聞いてくれたこと。

私が進みたいと思った職業、地域について「あなたはどこへ行ってもちろんとやっていけるだろうから、どこにでも行きなさい」と言ってくれたのが最高のサポートだった。

就職先に詳しくかったので調べたり、パンフレットを持ってきてくれた。

両親が就職したときの話やアドバイスをしてくれたこと。

あまり口出せず、全て任せてくれていた。

一人暮らしの家に、ストックを持ってきてくれたり、食事を作ったりしてくれた。

親の世代と就活の時期、やり方が異なるが、それを分らずに「自分の時は…」という話が煩わしかった。今の就活の実態を表面的でも良いので分かって欲しい。

交通費がカツカツだったので、助けて欲しかった。

教員採用についてもっと知って欲しかった。

## 家族のサポートで困ったことがあったこと

ミスした時に「そんなんじゃ〇〇になれないぞ」と言われたこと。

進もうと決めた業界、企業を非難したこと。助言に留めるべきだと思う。

就職先に対して悪口を言われたこと。

生活費をサポートして欲しかった。就活中はバイトができないので、苦しかった。

両親が就職した時代とは状況が変わっているので、自分たちを基準に簡単なことを言わないで欲しかった。

周りの人に進路状況を言うこと。

頻繁な「勉強どうなの？」や「就活どうなの？」という質問には参った。



## 就活を終えて、成長したと実感したこと



自分自身と向き合っただのような働き方をしたいか、しっかりと見つめ直すことができた。

自分から行動を起こすことに抵抗を感じなくなった。

自己管理（体調・スケジュール等）ができるようになった。

「職に就く」ことの難しさを改めて実感することができた。

以前は失敗などすると引きずってしまったが、前向きな気持ちを持つことを心がけていたら、何ごとにもあきらめずに取り組めるようになったこと。

面接を何度もこなすことで、自分がどういう人物なのかわかった

両親が心配してくれたり合格してとても喜んだりしてくれたのを見て、改めて感謝の気持ちが沸いてきた。

活動中に様々な人に会って、社会の黒い部分や様々な仕事があることを知れた。落とされたことを含めて良い経験ができた。

どこからもなかなか内定がもらえない時、大丈夫、絶対受かると母に何度も励ましてもらい、頑張ることができました。本当にありがとう。

本当に自由に私のやりたいことをさせてもらいました。父母は一度も私を否定したことはありませんでした。今振り返ればそれが一番の支えでした。

応援、サポートありがとうございました。初任給楽しみにしてね。

## 心から... 感謝のメッセージ

これまで22年間育ててくれてありがとうございますと伝えたいです。その分精一杯恩返しをしたいです。

今までろくに相談せず決めてしまったけど、好きなことをやれば良いと自由にしてくれて、見守ってくれて、応援してくれて、背中を押してくれて本当にありがとう。

いつも黙って見守ってくれて、最後まで信じてくれてありがとうございました。

## 就職活動 ~私の場合~

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
主な就活地域/内定業界	福島/マスコミ	仙台・東京/旅行	仙台・東京/人材	東京・東北/通信	関東/食品
エントリーした企業	15社	40社	50社	60社	30社
説明会に参加した企業	12社	14社	10社	18社	15社
採用試験を受けた企業	10社	14社	7社	16社	10社
就職活動にかかった費用	10万円	19万円	10万円	24万円	16万円

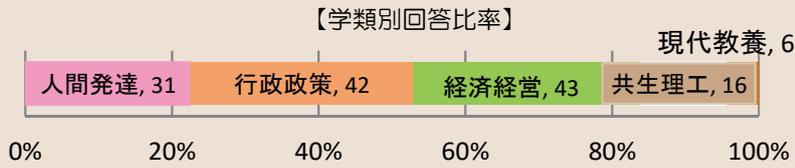
どのような業界・企業を志望するかによって、エントリーを行ったり実際に訪問する企業数はさまざまです。また、企業の所在地や選考会場、選考方法などにより、就職活動に必要な費用も大きく異なります。

# 福大生の保護者はどう思っている???

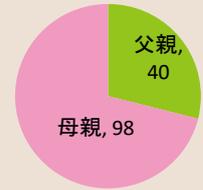
アンケート結果より

平成31年度の「3年生の保護者全員ヘダイレクトメール」にて保護者アンケートを実施し、総数名の方から回答を得ることができました。アンケートへの回答内容から、お子様の就職に関する関心度は高く、また、多くの保護者の方が、各家庭の状況に応じて、なんらかの形でお子様の就職活動の手助けをしたいと考えていることが分かりました。

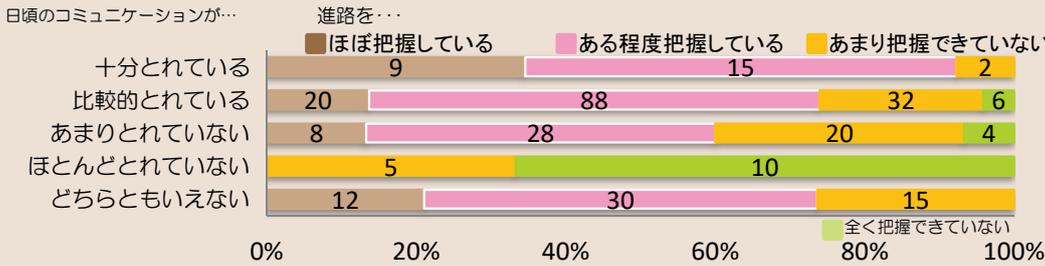
◆前回調査とあるのは平成28年度に行った同様のアンケートを指します。◆



【回答者者数】

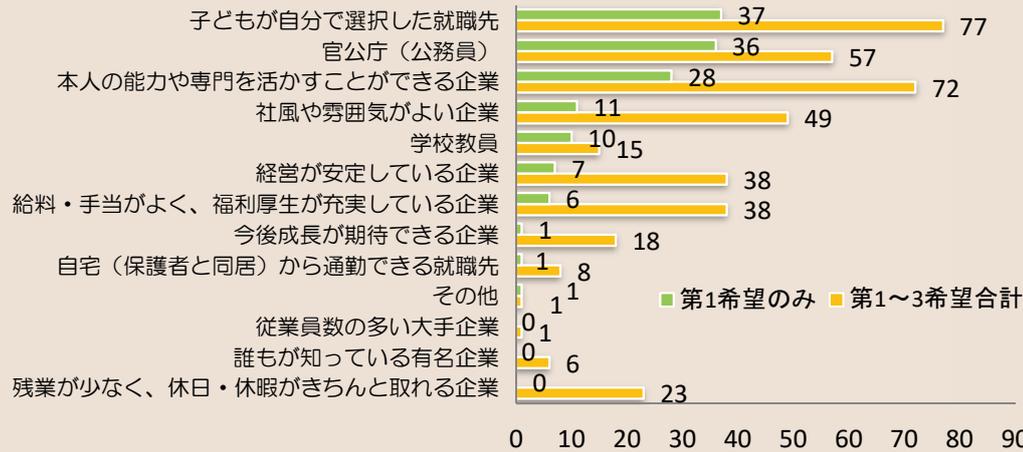


**Q1** 日頃、お子様と家族のコミュニケーションはどの程度とれていると感じていらっしゃいますか。【〇をつける】  
また就職・進路についてどのくらい把握できていると感じていらっしゃいますか。



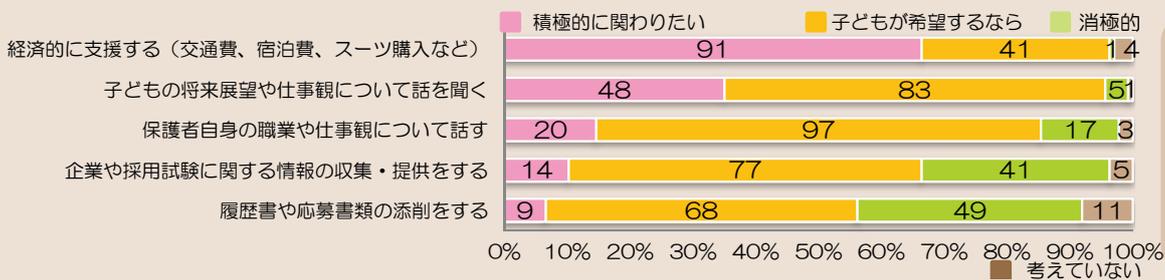
日頃のコミュニケーションが取れていない場合、お子様の就職・進路の希望について、把握されていない割合が高いようです。日々の生活状況と合わせて就職について話題にし、コミュニケーションのきっかけにはいかがでしょうか。

**Q2** お子様の就職先について、保護者としての希望をおきかせください。【3位まで順番をつける】



前回調査に引き続き、第1希望のみの集計で「子供の選択した就職先」が1位となりました。また、前回2位の「本人の能力専門を活かすことができる企業」が3位となり、前回6位タイの「官公庁」が2位に順位を上げています。社会情勢のほか、お子様自身が満足して働けるかなどに関心が高まっている様子です。

**Q3** お子様の就職活動に対して、保護者としてどのように関わり応援したいと考えていらっしゃいますか。【〇をつける】



経済的支援はもとより、それ以外の内容についても「子どもが希望するなら」と答える保護者が多く、全体の傾向は前回調査とほとんど変わっていません。

## 保護者の方から寄せられたメッセージ \*\*\*お子さんへのエール\*\*\*

■就職活動では、企業が学生の能力や可能性を短時間で判断します。その評価が正確であるかどうかは、企業はもちろん、本人さえもわからないことです。だから内定が得られず辛くても、自分は価値ある存在と信じてゴールを目指してください。赤い糸でつながっている企業はきっとあるはず、人も企業もすべては“ご縁”ですから。

■具体的にになりたい自分を想像し、強い意志で頑張ってほしいと思います。応援しています。

■喜んで愚痴を聞くので、思い通りに行かなくても、自分を見つめ直して、前向きに頑張りましょう。

■今の自分のやりたい事、やってみたい事がたとえうまくいかなかったとしても、その経験はこれから先プラスになります。自分がそうだったから。若いうちにいろいろなチャレンジしてみたいです。

■普段から何でも親によく相談してくれるので、これからの就職活動についても不安なことや心配なこと、何でも話して下さいね。自分で決めた未来を私達も応援しています！

■保護者の世代と、今の就職活動とは違うと思うのでやってほしい事は、きちんと声に出して言ってほしい。

■遠方のため、活動中は特に迷みがあり大変な事が多いと思います。近くにいない事が気になりますが少しでも気持ちが前に向くよう見守って行きたいと思っています。

■小・中・高と憧れだった職業に少しずつ、近づきつつある事を、嬉しく思います。もうひと頑張り、応援しています。

# キャリア支援課では **さまざまなサポート** を行っています

## 1 全学生に対するキャリア支援課の主な支援内容

### ■就職相談体制

週5日、資格を持った5名のキャリアカウンセラーが、月曜日から金曜日(木曜日は夜間対応有)まで、学生がいつでも相談できる体制を整えています。

### ■就職ガイダンス・少人数セミナーの開催

年間40件の就職ガイダンスを教員志望、公務員志望、民間志望向けに実施しています。

### ■学内個別説明会開催

教育委員会、自治体、民間企業が本学学生のために、会社の業務内容等を説明する場を提供しており、年間200件を超える申込みがあります。

### 実践型少人数セミナー

上記のほか、就職活動のスケジュールに合わせて、業界研究、エントリーシート作成、グループディスカッションなどの実践型少人数セミナーを開催しています。



## 2 教員志望学生への支援

### ■教員セミナー

元校長経験者を講師として教員セミナーを毎週水曜日に開催しており、約100名が受講しています。

期間は3年生の10月から4年生の9月まで、受講料は無料です。

### ■教員採用試験講座(主催:福島大学生協、共催:キャリア支援課)

学内教室にて、教員採用試験講座を開催しています。(有料)

## 3 公務員志望学生への支援

### ■公務員講座(主催:福島大学生協、共催:キャリア支援課)

毎年、約250名が受講しています。3年生の6月から4年生の3月まで、受講料は30万円程度です。

### ■インターンシップの推奨

ミスマッチが起きないよう、インターンシップを推奨しています。

### ■公務員業務説明会(共同主催:キャリア支援課、福島大学生協)

国や自治体が23機関、延べ1100名の学生が参加しています。

## 4 民間志望学生への支援

### ■合同企業説明会

年2回、9月と3月に合同企業説明会を開催しています。

・9月は就職先が決まっていない4年生を対象とし、特に公務員からの進路先変更を考える時期に、県内外企業30社で開催しており、例年、延べ100名の学生が参加しています。

・3月は民間企業の広報活動が解禁となる時期に開催し、県内外企業200社の企業、延べ700名の学生が参加しています。

福大生の採用を希望されている企業の方と直接お話ができる絶好の機会です！



## 5 既卒者への支援

既卒者には、卒業時にキャリア支援課を利用できることを周知するとともに、就職関係のHPから個別質問を受け付けしやすいよう、コンテンツを設けました。

また、例年9月と3月に実施している合同企業説明会では、既卒者を対象とする企業も参加するため、希望する方は参加することが可能です。日程については、ホームページで確認できます。

## お子さんの 就活サポーターとして

今どきの就職活動事情をご理解いただき、  
お子さまのよき相談相手として  
温かく見守ってください。

### うちの子、就職大丈夫？

現在の学生の就職環境は、保護者のみなさまが就職活動をされたころの状況とは大きく様変わりし、スケジュールや選考方法がとても複雑になっています。そのため、多くの保護者の方がお子さんの就職活動に関心を寄せており、また、不安を感じていらっしゃる方も少なくありません。保護者の方からの問い合わせや相談も増えてきています。

### どう接したらいいのか？

就職活動を控えたお子さんや、まさに就職活動中であるお子さんの様子をみて、どのような手助けをしたらよいか、保護者のみなさまも判断に迷うことがあるかもしれません。まずは、就職活動に関する正しい知識をお持ちになり、今の状況を理解した上でお子さまと向き合っていただければと思います。

### 日頃からのコミュニケーション

就職活動もピークを迎えると、家族にも友達にも話せないようなことが出てくることもあります。普段からコミュニケーションを取り、いざというときにもスムーズに会話ができる関係であることが大切です。実際に相談はしなくても、相談できる人が身近にいるということだけでも大きな安心感につながります。

### 親だからこそできる支援

就職活動は、誰にとっても初めての経験ばかりで不安でいっぱいです。社会人の先輩として、また、成長を見守ってきた親だからこそわかる個性を踏まえたうえでのサポートは、お子さんにとってとても心強いものです。ぜひ、お子さんのお話をじっくりお聞きになり、本人の希望や意思を受け止めるとともに、見落としていた新たな視点に気づかせるなどしながら応援していただければと思います。

### 成長を見守って

就職活動は、自分自身で考え、決断し、行動するという経験の繰り返しです。就職活動を通して、将来について迷い、悩みながら、自分を見つめ直し、大きく成長します。頼もしい大人へと変わっていく様子を温かく、そして時には厳しい目で見守っていただきたいと思います。

## お子さんとの会話の中で

心配するあまり、悩んでいるお子さんに対して  
次のような言葉が浮かんでくることはありませんか？

- ◆「そんな会社聞いたことないよ」 お子さんの意思を否定していないでしょうか
- ◆「就職は地元」 親の希望を押しつけていないでしょうか
- ◆「〇〇さんは就職決まったって」 他人と比較され自信をなくすことも
- ◆「説明会と一緒に行こうかしら」 過保護すぎてはいませんか
- ◆「まったく興味がない」 無関心すぎてはいませんか

応援したい気持ちから出た何気ない一言であっても、さらに悩んだり困ってしまう場合もあります。お互いに誤解のないようコミュニケーションを重ねていくことが大切です。

## 応援する際の ポイント



## 【編集・発行】 福島大学キャリア支援課

〒960-1296 福島市金谷川1番地

tel : 024-548-8108

fax : 024-548-8355

mail : shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp

ホームページ : <http://syushoku.adb.fukushima-u.ac.jp/>

本学の就職支援に関する  
お問い合わせは  
こちらまでどうぞ

